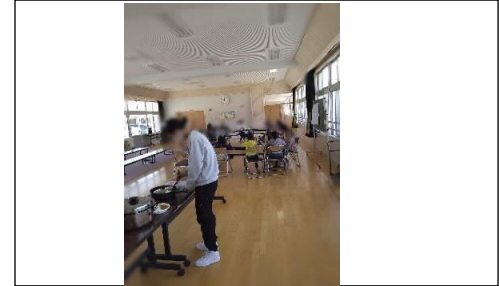


令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	障がいがある人もない人も地域でつながるコミュニティカフェと作業所の創設
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人ラブリーズ 080-8166-9220
事業区分	(2)保健、医療、福祉の充実に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,475,286 円 (うち支援金: 1,112,000 円)

事業内容

- 1、子どもカフェ開催・・・月1回以上の開催(9/27、10/25、11/22、12/25、1/8、2/21、3/24、3/31)
- 2、カフェ運営・・・火、水、金、土曜日営業
- 3、ランチ配達・・・カフェに来ていただくお客様が多く、実施せず。
- 4、作業場の運営・・・高齢者施設レクレーションの下準備など
- 5、カフェでイベントの開催・・・アートフェス、泰阜親の会、エイサー三線教室、プログラミング教室、鹿革クラフト体験など



子どもカフェ開催の様子

【目標・ねらい】

- ①地域住民の交流の場となるカフェを創設する。
- ②地域の子供の居場所を創る。
- ③村内に障がい者の居場所を創る。

事業効果

- ①カフェでは飲食だけでなく、様々なイベントや展示会、更にサークル活動や学習教室なども開催したことにより、多くの地域住民の利用があり、多世代にわたる交流の場となった。
- ②子ども食堂の開催、プログラミング教室、クラフト体験など、子どもが興味を持つイベントを開催し地域の子供たちがカフェを利用する機会が多くあった。子供たちが気楽に過ごせる場所となった。
- ③村内、近隣町村の障がい者がカフェの接客や作業場スペースで作業を行い地域の人と交流の場となった。また店内で近隣の障がい者施設の商品販売スペースを設け商品陳列などを障がい者に一緒にしてもらい障がい者の村内における社会参加の場の一つをつくれた。

※自己評価【B】

【理由】

コロナ感染拡大に伴い、実施方法の変更や縮小、中止せざるを得なかったが、村内外の様々な方に利用いただけた。

今後の取り組み

このカフェが交流の場であるという認識を地域の人にもっと持ってもらうように今後もイベントや展示会、学習教室やサークル活動などをカフェで行っていく。一方で、作業場の運営にも力をいれていき、障がい者の社会参加の場としてのカフェという位置づけを地域の人に更に理解してもらえるようにしていく。世代を問わず、障がいがある人にとっても居場所となれるようなカフェを目指し運営を継続していく。